

令和7年度 福岡市 保育現場の魅力向上支援事業 働き方改革支援の報告

令和8年3月12日
担当社労士:青木亮太

ご参加の園について

社会福祉法人福岡舞鶴誠和会
福岡舞鶴誠和第一・第二保育園

■所在地

福岡市西区北原2丁目17-42

■定員

130名

■職員数

31名(正規職員12名) 第一園のみ

■その他

福岡舞鶴高等学校/誠和中学校と連携



【結論】

今回は、初めて**長所伸展型研修**に
チャレンジしていただきました

3

【研修の様子】



4

【研修の成果物】



5

園長先生が課題だと思っていたこと

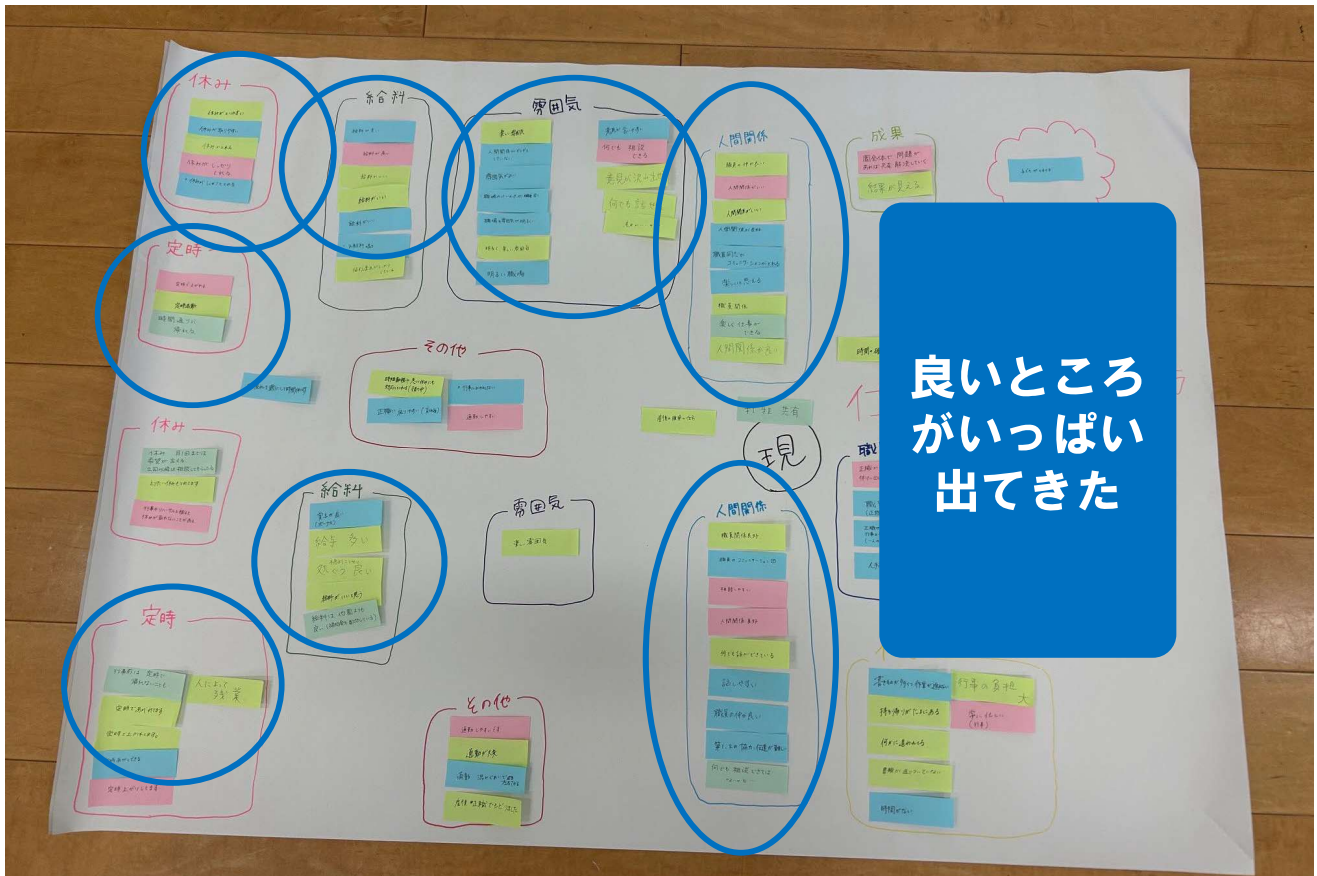
「コミュニケーション力」
 「情報共有」
 「報連相報の徹底」
 が上手くいっていないのでは？



園長先生

6

職員の皆さんからヒアリング結果



7

園長先生と青木の感じ方の違い



園長先生

「コミュニケーション力」
「情報共有」
「報連相報の徹底」
が上手くいっていないのでは？



青木

「コミュニケーション力」
「情報共有」
「報連相報の徹底」
が上手くいっている

8

園長先生が課題だと思っていたことは・・・



園長先生

「コミュニケーション力」
「情報共有」
「報連相報の徹底」
が上手くいっていないのでは？

勘違い！



青木

「コミュニケーション力」
「情報共有」
「報連相報の徹底」
が上手くいっている

むしろ強み！

9

研修の進め方について



福岡舞鶴誠和
第I・第II保育園

強み

「コミュニケーション力」
「情報共有」
「報連相報の徹底」
が上手くいっている



青木

**本来は課題を解決（改善）
していくことが一般的。**

10

長所伸展型研修に 切り替え

長所伸展と短所是正

長所伸展

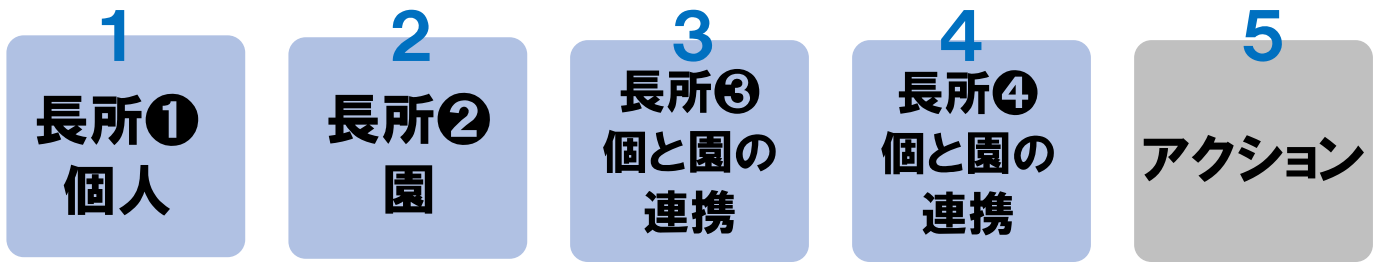
自分たちの強みに焦点を当て、
それを活かし、広げていく考え方

短所是正

自分たちの課題や欠けている点に目を向け、
それを修正していく考え方

進め方の違い

長所伸展



短所是正



13

つまり、私たちが目指すのはこういう姿です

「欠点の対策」から「良くなる工夫」へ

	短所是正	長所伸展
連絡	伝達ミスを注意する 報連相のルールを強化する	情報共有が上手な先生のやり方を共有 クラス間で良い連絡方法を広げる
清掃	汚れている場所を指摘する チェック表で管理する	きれいにしているクラスの工夫を共有 掃除のコツや習慣を職員同士で紹介

14

ご参加された職員の方の感想

Q: 研修前と後で、成長したな、変わったなと感じることを教えてください。

A: 先生たちの**良いところがより目につく**ようになった。

肯定的な気持ちで保育できるようになった。

A: 意識して周りに目を向けたり、**いい所を探そう**とすることが増えました。

15

ご参加された職員の方の感想

Q: 研修中もしくは後で、具体的に行動したことがあれば教えてください。

A: 感謝の言葉など思っていることを**しっかり言葉に出して伝える**ようにした。子どもに対しては**前向きな言葉を使う**よう意識した。

A: コミュニケーションの大切さも実感したので、仕事のことだけでなく**趣味などの会話も自分から始めたりする**ようになりました。

16

ご参加された職員の方の感想

Q:短所是正の人生と長所伸展の人生、5年後、自分が最も変わっていそうなことは？

A:短所も受け止めながら、長所を活かして自信を持つことができるようになってると思います。

A:短所是正だったら、保育士を辞めているかも。

長所是正だったら、楽しく仕事を続けていられると思う。

17

長所を伸ばすとき(磨くとき)の視点

クイックヒット

大きな取り組みでなく、
小さな取り組みを積み上げる

18

長所伸展の成果①

工夫

誕生日会と職員会議の
同日開催を分ける



結果

余裕を持って
誕生日会に臨むことで、
保育の質が上がった

19

長所伸展の成果②

工夫

職員会議は内容を絞る
昼礼は各クラスの報告時
間を決める



結果

会議時間を50%削減
その分他の仕事ができる
時間が確保できた。

20

【注目】長所伸展が態度に出ている様子



21

ご参加された園長先生の感想



園長先生

研修に応募することに**最初は迷って**いました。
忙しいから出来ないではなく、時間をどうやって作るか、そして、研修内容で結果が出ることで、研修への取り組み方が変わっていったと思います。先生達の考え方がよくわかりましたし、

日本一の保育園になる！
という理想に少し近づくことが出来ました。

これからも、自信をもって保育を進めていきます。

22

結論

今回のご支援を通して、改めて感じたことがあります。

相互理解を深めるためには、相手をよく観察し、その人の「**良さ**」に気づくことが大切です。

多くの職場では、改善点や問題点を見つけて直すことを中心に人材育成や組織づくりが進められています。

しかし、「良いところを見つけ、それを伸ばす」という方法もあるのではないのでしょうか。

長所につながる保育園が増えることで、保育士が「**なりたい職業ナンバーワン**」になる社会に近づくと確信しています。